

会報

熊本県日中協会

平成24年
8月発行

《発行》
熊本県日中協会
会長 柏木 明

《事務局》
〒860-0846
熊本市中央区城東町4-2
熊本ホテルキャッスル2F

Tel 096-356-4847
Fax 096-325-2829

通刊83号

～さらなる友好の絆を～

熊本県が中国・広西壮族自治区と友好提携を結んで今年で三十周年。これを記念した日中交流会が七月十七日、区都の南寧市で開かれ、県訪中団に県日中協会からも三十余人が参加、祝賀ムードに華を添えました。

満席の百六十人を乗せた中国南方航空のチャーター便は十七日午後一時五十分熊本空港を飛び立ち、三時間四十分後に南寧空港に到着、一行は旅装を解いた後、午後七時半（日本時間同八時半）から「記念交流会」に出席。熊本県や県議団、友好提携を結んでいる熊本市（桂林市）、八代市（北海市）の関係者などの県訪中団と地元・南寧市の代表者など、合わせて約五百人が交流会に臨み、熊本県と南寧市が経済交流を今

くまモンも参加
日中友好に一役買いました



広西壮族自治区と
熊本県・友好提携

三十周年で県が訪中団 県日中協会も参加祝う

熊本県が中国・広西壮族自治区と友好提携を結んで今年で三十周年。これを記念した日中交流会が七月十七日、区都の南寧市で開かれ、県訪中団に県日中協会からも三十余人が参加、祝賀ムードに華を添えました。



日中双方の代表が今後の経済交流などを誓って覚書を交わしました



南寧市から華麗な中国の舞踊を披露、拍手を浴びました

後も促進。双方の代表が壇上で覚書を交わし、祝賀会に入りました。

参加予定だった蒲島知事と幸山熊本市長は、災害対策で取りやめ、代わりに副知事らが参加。熊本からゆるキャラで人気のくまモンが会場を沸かせ、女性歌手のDOYO組も熊本の歌を披露、南寧市から民族舞踊団

が優美な踊りを舞い、熱気に包まれた会場のあちこちでは日中友好の花が開いていました。

県日中協会は、翌十八日から、ベトナム国境の「徳天の大瀑布」と風光明媚なその周辺の観光へ、そして四日目の夜は熊本県の渡辺真弓さんのご配慮で「日本留学会（留学経験者）」との夕食交流会を開き、友好を深めました。

親しくなった協会メンバーとの四泊五日の旅もあつと言う間、二十一日午後一時半、無事帰国しました。

「詳細は二、三面に掲載

～県日中協会40周年～ 11月23日に式典 当初の予定を変更

中国大使が特別講演

熊本県日中協会の創立40周年記念式典・祝賀会の日程が、記念講演をお願いしております程永華中国駐日大使の要望により、変更となりました。詳細は10月頃に改めてご案内を差し上げます。

平成24年度
主な事業計画
(6月18日の理事会で承認)

- ◎日中交流の事業推進
- ◎会報の発行
- ◎協会運営の活動強化
- ◎創立40周年記念式典・祝賀会
- ◎40周年記念誌の発行
- ◎広西壮族自治区訪中団（実施済み）
- ◎第31回・熊本春節祝賀会
- ◎中国文化の紹介活動
- ◎県中国残留孤児等対策協議会への協力

幻想の世界に浸る

アジア最大の滝「徳天瀑布」

訪中国紀行

広西壮族自治区と熊本県の友好提携三十周年記念式典を終えた翌十八日から三日間、アジア最大の滝「徳天瀑布」へ。

県日中協会の一行三十人を乗せたバスは、ベトナム国境へ。六年前に完成したばかりの高速道路を経由し



水煙が立ち込める徳天の大瀑布



下流は一転、静かな棚田のように流れを変えていました



筏に乗ってさあ瀑布見物へ出発



筏に乗って滝の下へ

右側が中国、左側がベトナム、二つの国に跨るとから、別名・跨国大瀑布と言われています

て約二百き。途中の景色は桂林を思わせる奇岩の連続カルスト台地特有の石灰岩が侵食され、えぐり取られた山肌は、周りの水辺や南国の植物と一緒にしっとりした雰囲気を出す。そんな「百里画廊」を過ぎ、山間に現れたのは「徳

天瀑布」。幅約二百き、高さ七十き。帰春河の上流にあり、河を堺に向かいはいベトナム。瀑布の上流は大小の滝が、幾重にも折り重なるようにしづきをあげ、自然の見事な営みを形成する。



徳天瀑布の上流は幾つもの滝が流れ、大きな水の音とともに水煙を上げ、躍動感あふれていました

まさに幻想の世界に浸っているよう。いよいよ狭い階段を降りて瀑布見物。小さな船着場で筏に乗り滝のすぐ下まで

行く。こう音と水しづきで圧倒されそうになった。夏場は水量も多く、ひととき勢いが増すという。また秋の紅葉時に訪れたくなる気分になった。



徳天瀑布の上流にある曲がりくねった黒水河。河をはさんだ丸い山がのどかな感じを与える



中国の広大な土地に敷設するガス管・ケーブル等の被害を防ぐため、中国政府のインフラに役立つシート溶着機



産業等の燃える物をマイナスイオンにより1/250に減量処理し、環境に特化したセラミック生成装置

あらゆる通信情報のお手伝い！！
GNY 株式会社 グラネット山田

代表取締役 山田茂則

〒861-3102 熊本県上益城郡嘉島町下六嘉3628
TEL 096-235-2022 FAX 235-2024

光・TEL・LAN等の配線工事、高所作業車を使った仕事を得意としています。興味がおありの方は連絡して頂ければ資料等お送り致します。

携帯 090-1088-3955



切り立った山肌を背景に、左右の竹林をかき分けるように川下りの船が客を運ぶ

明仕河沿いの竹林や峰々を背景に、一大観光地が広がる。滝の余韻を残して、

瀑布と田園の一大庭園

龍眼商う広州の企業が事業化

10年前に開発、高速道も完成

そのまま約50キロ離れた明仕山荘に宿を移す。

一帯は「明仕田園」と呼ばれる景勝地。翌朝、食事後に付近を自由散策。筏に乗って河を下ると、川面から老人の笛の音が、岸からは女性の歌声が聞こえる。この日泊まった民間のホテルが編み出した観光事業で、徳天瀑布もその中の一つ。竜眼（荔枝の一種）を買い付けに来ていた広東省・



沿道にはバナナ畑が迫り、情緒豊かな

出し、観光地化。六年前には高速道路も完成。近年、中国には珍しい、民間の将来が楽しみな新興観光地と言えます。



人民元の二十元札の背景を飾った明仕山河と山々。悠久の世界だ



特産のバナナを売る露店が立ち並ぶ



農作業に励む若者たち

川のほとりで歌声を披露する広西壮族の女性たち。底抜けに明るい。



徳天から明仕への途中、道路工事で一時立ち往生もありまして・・・



宿泊した明仕山荘。現地の伝統建築をもとに建てられた見事な造りは旅の疲れを癒してくれました。

県に見舞金二千四百万円

豪雨災害で広西壮族自治区

広西壮族自治区は、八月一日、豪雨災害の見舞金として、30万ドル（約二千四百万円）を熊本県に贈りました。自治区の代理として、李天然中国駐福岡総領事が県庁を訪れ、蒲島知事に目録を手渡しました。（熊日記事より）

未来を背負うあなたの子供に安全な食糧を

「野菜が壊れる」集英社新書 著者 新留 勝行



株式会社 ジェム

代表取締役 新留 勝行

〒861-0524 熊本県山鹿市上吉田341番地2

TEL0968-43-7109 FAX0968-43-7780

URL <http://www.jemsys.co.jp/>

「水、食材・食用油、空気の電子チャージ」

「ジェム電子有機肥料」

「ジェム酸酵コーヒー かぶ茶」

「本格焼酎 西洲」玄米酒 西洲

「压榨絞りなたね油」他



野菜が壊れる
絶賛発売中!!

土を殺す化学肥料はもういらぬ。毒をまく農薬も、もういらぬ。

訪中団が足を延ばした ベトナム国境



中国とベトナムとの国境にある
友誼関



フランス植民地時代に建設
された建物

日本留学会との交流会で
思い出の記念写真



思い出を熱く語り合う 日本留学会と夕食交流会

訪中団最後の夜の二十日、
日本留学会を経験した南寧市
在住の十人を招いての交流
会を開きました。



挨拶する中国側の代表楊由飛
さん。隣は柏木明会長

訪中団最後の夜の二十日、
テーブルでは近況を互いに
紹介し合い、和やかな雰
気はあつと言う間に過ぎま
した。

また、熊本の日本酒も持
参、久しぶりの匂いを嗅ぎ
ながら話題に花が咲き、く
まモンの付いたお土産に大
喜びでした。



談笑する
訪中団長
高野正博

ジー シャオ チョンドウオ 积少成多 塵も積もれば山となる

中国の
ことわざ

天下の名城 熊本城

日本料理

城見槽

長堀通り Tel 096-356-1146



荒尾市が「40周年」講演会 舩添要一氏招き10月13日

日中友好交流の象徴として、歴史
にその名を残す中国革命の父・孫文
と熊本県荒尾市出身の宮崎滔天。日
中国交正常化40周年を記念して、
「孫文と宮崎滔天」や「日本と中国」
をテーマに、昨年10月に「孫文」
(角川書店)を執筆した国際政治学
者の舩添要一氏による講演会を開催
します。

日時 平成24年10月13日(土)
午後2時より

場所 熊本大学工学部百年
記念館

※詳細はチラシをご覧ください。

編集後記

今年には県日中協会創立
40周年、そして日中国交
正常化40周年の節目の年。
協会では記念式典を設立
月に合わせて11月23日に
開催、例年7月の総会を
合わせ実施、中国大使の
記念講演を予定するなど、
盛り上げることになりま
した。

また、7月には紙面で
ご紹介しました広西壮族
自治区と県の友好提携30
周年記念に協会訪中団を
結成、現地で日本留学経
験者との協会独自の交流
会も開き、互いに理解を
深めました。

一方で、協会の財政面
も含めた健全化を図るた
めの検討が始まりました。
大きな課題であります会
員の増大、それにつなげ
る魅力溢れる協会活動に
着手中です。

皆様のアイディアをお
待ちしています。

(機関紙編集委員会
・小串 照彦)